



## 2021年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2020年11月9日

上場会社名 株式会社 鶴見製作所  
 コード番号 6351 URL <https://www.tsurumipump.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理部長  
 四半期報告書提出予定日 2020年11月13日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東

(氏名) 辻本 治  
 (氏名) 敦賀 啓一郎  
 TEL 06-6911-2351  
 配当支払開始予定日 2020年12月10日

(百万円未満切捨て)

### 1. 2021年3月期第2四半期の連結業績(2020年4月1日～2020年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第2四半期	20,230	1.1	2,203	6.9	2,548	18.9	1,806	12.1
2020年3月期第2四半期	20,449	7.2	2,060	13.7	2,143	16.5	1,612	10.3

(注) 包括利益 2021年3月期第2四半期 2,442百万円 (80.3%) 2020年3月期第2四半期 1,354百万円 (38.8%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第2四半期	72.16	
2020年3月期第2四半期	64.38	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第2四半期	75,462	63,904	83.6
2020年3月期	76,939	62,010	79.5

(参考) 自己資本 2021年3月期第2四半期 63,072百万円 2020年3月期 61,147百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期		14.00		20.00	34.00
2021年3月期		14.00			
2021年3月期(予想)				20.00	34.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	45,000	1.3	5,000	3.2	5,200	5.0	3,700	6.4	147.77

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- |                    |     |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更         | : 無 |
| 会計上の見積りの変更         | : 無 |
| 修正再表示              | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期2Q	27,500,000 株	2020年3月期	27,500,000 株
期末自己株式数	2021年3月期2Q	2,461,871 株	2020年3月期	2,461,871 株
期中平均株式数(四半期累計)	2021年3月期2Q	25,038,129 株	2020年3月期2Q	25,038,227 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、米中貿易摩擦の激化や新型コロナウイルス感染症の世界的な感染拡大による様々な経済活動の停滞に伴い、企業業績や個人消費が悪化し、輸出・生産が急激に減少するなど極めて厳しい環境にありました。5月の緊急事態宣言解除後に持ち直しの兆しがありましたが、再度感染者数が増加するなど景気の先行きは引き続き不透明な状況で推移しました。

このような状況の中で当社グループは、国内部門では、建設機械市場におきまして引き続き災害復旧工事用ポンプの需要はありましたが、レンタル業界向け水中ポンプなどの需要が減速し、売上が僅かながら減少しました。

設備機器市場におきましては、公共工事、民間設備向けの真空ポンプや管材関連の売上が増加しましたが、水処理プラント関係、工場設備、脱水機などの売上が減少しました。

海外部門では、新型コロナウイルス感染症の世界的な感染拡大による影響で、米国市場におきましては、インフラ需要が回復傾向にあり堅調さを取り戻しつつありますが、各都市のロックダウン等により建設市場及び鉱山市場での需要の減少が見られ、アジア市場でも同様に新型コロナウイルス感染症の影響を受け、工事、インフラ物件を含む設備市場での需要が低迷しました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は20,230百万円と前年同四半期連結累計期間と比べ218百万円(1.1%)の減収、コロナ禍における様々な活動の縮小及びWeb会議システムの活用等による経費削減効果により、営業利益は2,203百万円と前年同四半期連結累計期間と比べ142百万円(6.9%)の増益、また、有価証券運用益を153百万円計上したこと、前年同四半期において302百万円計上していた為替差損が150百万円に減少したこと等により経常利益は2,548百万円と前年同四半期連結累計期間と比べ405百万円(18.9%)の増益、親会社株主に帰属する四半期純利益は1,806百万円と前年同四半期連結累計期間と比べ194百万円(12.1%)の増益となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

当第2四半期末の総資産は75,462百万円と前連結会計年度末に比べ1,476百万円減少しました。

これは、主に受取手形及び売掛金が3,080百万円、たな卸資産が383百万円、保有する投資有価証券の時価上昇に伴う繰延税金資産の減少等により投資その他の資産のその他が450百万円それぞれ減少し、短期貸付金の増加等により流動資産のその他が180百万円、有形固定資産が891百万円、無形固定資産が483百万円、投資有価証券が850百万円それぞれ増加したことによるものであります。

負債につきましては、11,558百万円と前連結会計年度末に比べ3,370百万円減少しました。

これは、主に支払手形及び買掛金が2,259百万円、未払法人税等が175百万円、賞与引当金が337百万円、固定資産の取得等に伴う未払金の減少により流動負債のその他が619百万円それぞれ減少したことによるものであります。

純資産につきましては、63,904百万円と前連結会計年度末に比べ1,893百万円増加しました。

これは、主に利益剰余金が1,306百万円、その他有価証券評価差額金が731百万円それぞれ増加し、為替換算調整勘定が163百万円減少したことによるものであります。

これらの結果、自己資本比率は83.6%(前連結会計年度末79.5%)となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

新型コロナウイルス感染症の世界的な感染拡大による当社グループを取り巻く環境は、多方面に渡る活動自粛の状況下において、少なくとも当連結会計年度末までこのような状況が続くものと予想しており、日本経済そして世界経済への多大な影響が懸念されます。

そのような状況の中、当社グループは社会インフラに直結した製品を提供していること、また異常気象等に伴う災害から国民生活を守るための製品を提供していることなどもあり、需要減少の影響は現状では軽微であると考えられることから、連結業績予想につきましては2020年5月15日に発表した数値から変更はありません。

今後も当社グループ製品が社会インフラ基盤に対して必要不可欠なものであるという責任を十分に踏まえた上で、万全な感染防止策を徹底し製品を供給し続けることができるよう努めてまいります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	14,095	14,187
受取手形及び売掛金	18,245	15,164
有価証券	1,436	1,366
たな卸資産	10,978	10,594
その他	1,201	1,382
貸倒引当金	△48	△38
流動資産合計	45,908	42,657
固定資産		
有形固定資産		
土地	8,244	8,127
その他(純額)	5,441	6,449
有形固定資産合計	13,685	14,577
無形固定資産		
	834	1,318
投資その他の資産		
投資有価証券	13,324	14,174
その他	3,341	2,891
貸倒引当金	△2	△2
投資損失引当金	△154	△154
投資その他の資産合計	16,509	16,909
固定資産合計	31,030	32,805
資産合計	76,939	75,462

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,813	4,554
短期借入金	500	500
未払法人税等	835	659
賞与引当金	996	658
その他	3,361	2,741
流動負債合計	12,506	9,113
固定負債		
社債	700	700
長期借入金	900	900
引当金	182	188
退職給付に係る負債	417	405
その他	222	250
固定負債合計	2,422	2,444
負債合計	14,928	11,558
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	5,188	5,188
資本剰余金	7,810	7,810
利益剰余金	48,828	50,134
自己株式	△2,119	△2,119
株主資本合計	59,707	61,013
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,329	2,061
為替換算調整勘定	290	127
退職給付に係る調整累計額	△179	△128
その他の包括利益累計額合計	1,440	2,059
非支配株主持分	862	831
純資産合計	62,010	63,904
負債純資産合計	76,939	75,462

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
売上高	20,449	20,230
売上原価	13,420	13,459
売上総利益	7,028	6,770
販売費及び一般管理費	4,967	4,567
営業利益	2,060	2,203
営業外収益		
受取利息	123	120
受取配当金	119	131
有価証券運用益	31	153
その他	137	140
営業外収益合計	411	546
営業外費用		
支払利息	6	5
為替差損	302	150
その他	19	45
営業外費用合計	329	201
経常利益	2,143	2,548
特別利益		
補助金収入	155	—
特別利益合計	155	—
税金等調整前四半期純利益	2,299	2,548
法人税、住民税及び事業税	600	631
法人税等調整額	44	71
法人税等合計	645	702
四半期純利益	1,653	1,845
非支配株主に帰属する四半期純利益	41	38
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,612	1,806

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
四半期純利益	1,653	1,845
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	169	731
為替換算調整勘定	△428	△185
退職給付に係る調整額	△40	50
その他の包括利益合計	△299	597
四半期包括利益	1,354	2,442
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,337	2,425
非支配株主に係る四半期包括利益	16	16



(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。